

## 《会議・委員会等報告書》

報告者：佐々木 順 造  
報告区分：部内  
会議等名称：平成20年度第5回大学院医歯薬学総合研究科倫理委員会  
開催日時：平成20年8月26日 17時15分 ～ 19時20分  
開催場所：医学部中会議室（医学部管理棟3階）  
出席者：8名（欠席者）山下委員，成松委員  
議事内容：

- (1) 議事要旨（7月29日開催分）の確認について  
前回議事要旨について確認された。
- (2) Functional dyspepsia患者を対象としたクエン酸タンドスピロンとプラセボとの二重盲検比較試験  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 岡 田 裕 之  
審議の結果，承認された。
- (3) 特殊光観察による内視鏡診断の有効性に関する検討  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 岡 田 裕 之  
審議の結果，申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され，承認された。
- (4) 化学療法時における消化管毒性とDiamine oxidase (Dao)活性に関する探索的検討  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 猶 本 良 夫  
審議の結果，承認された。
- (5) 未治療中間リスク群限局性前立腺癌に対するNHT+ヨウ素125密封小線源永久挿入療法+AHT併用療法とNHT+ヨウ素125密封小線源永久挿入併用療法とのランダム化比較臨床試験（SHIP0804）  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 那 須 保 友  
審議の結果，申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され，承認された。
- (6) 超音波診断用造影剤ソナゾイドを用いた正常リンパ節の造影効果の検討  
研究責任者： 医学部・歯学部附属病院 助教 柳 文 修  
審議の結果，申請書等の字句・文面を一部修正することが確認され，承認された。
- (7) 迅速審査
  - 1) 食道がんEMR症例におけるヨード不染帯をバイオマーカーにした多発がん発生のリスクと多発がん発生までの期間の検討に関する多施設共同前向きコホート研究  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 岡 田 裕 之  
審議の結果，次の条件を付し承認することとなった。  
①主幹施設の承認通知書を提出すること。
  - 2) 糖尿病における血中酸化ストレスマーカーの測定  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 教授 荻 野 景 規  
審議の結果，承認された。
  - 3) 未治療中間リスク限局性前立腺癌に対する，ヨウ素125密封小線源永久挿入治療後36ヶ月生検による照射後生検所見の臨床的意義に関する検討（SHIP36B）  
研究責任者： 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 那 須 保 友  
字句・文面を修正の上，指摘のあった事項を修正し，確認を受けた後，承認することとなった。  
審議の結果，承認された。
- (8) その他
  - ①新様式について  
委員長の指名により栗屋委員から標記（資料10）に基づき，様式の改変に伴う説明があった。種々意見交換の結果，疫学研究倫理審査委員会，ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会と調整のうえ，委員全員の確認を受けた後，申請者等へ周知することとなった。
  - ②次回開催日について  
次回開催予定日 平成20年9月30日（火）ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会終了後